

LMO

Autumn

秋号の主な内容

支部長リレーコラム	2
人物紹介	3
各地の職場から	4
トピックス① 移住フェアで募集周知活動(三沢支部)	5
トピックス② 佐世保南高校主催県内企業説明会に 佐世保支部が参加(佐世保支部)	5
エルモ職員採用について	6
ティータイム	7
わが支部の顔	8
トピックス③ 米海軍横須賀基地お仕事相談会 ハローワークで月4回開催(横須賀支部)	9
支部行事予定	9
Information	10~12

LABOR MANAGEMENT ORGANIZATION

vol 90 2024.10



三溪園 聴秋閣の紅葉(神奈川県横浜市)



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

支|部|長|リ|レ|ー|コ|ラ|ム

岩国支部からご挨拶



(岩国支部長：写真手前中央)

岩国支部長 坂本 渉

本年4月から、新しい任地である山口県岩国市での単身生活が始まり半年が経ちました。青森県出身の私にとって、山口県どころか西日本で生活することが初めての経験です。昨年度末、LMO本部で勤務していた私が岩国支部への転勤を打診された時には、言葉が違う？気候が違う？電気のHz数が違う？と戸惑いましたが、なんてことはありません、住めば都、出会う方々は皆温かく、公私共にノーストレスで、むしろ今ではここでの暮らしを楽しんでいます。

私の職場、岩国支部を一言で表現すると、「少数精鋭」でしょうか。LMO内では小規模支部として区分され、職員数も少ないのですが、管轄地域が岩国地区（米海兵隊）、呉地区（米陸軍）と2つに分かれるため、健康診断や永年勤続者表彰式などの大きな行事は別々に行われます。担当者は各々の地区で米軍との調整や準備をすることになり、職員一人一人に掛かる業務量や責任度合いは決して「小規模」ではありません。サービスする基地従業員数も米軍再編と共に徐々に増加し、現在2千人規模となっています。

そのような状況にも関わらず、これまで一つの事故もなく、2千人の基地従業員の皆様とそのご家族の生活を支え、日々の業務を完遂してきた岩国支部は少数精鋭の職員でしっかりと守られていると言っても過言ではありません。LMO職員としては、非常に鍛えられる環境であり、一度は勤務する価値のある職場、誇れる職場だと思っています。



岩国の名勝「錦帯橋」(支部長撮影)

2度目の沖縄



沖縄支部長 岩井 英明

本年4月から、沖縄支部に勤務することとなりました。平成25年4月から2年間、沖縄防衛局に勤務して以来、約10年ぶり2度目の沖縄勤務となります。

10年ひと昔と言いますが、これまでの間、何度か沖縄には出張で訪れていたこともあり、さほど違和感なく過ごせると思っていたのですが、やはり10年という歳月は世の中の移り変わりを感じさせるものでありました。その間に新型コロナに関連した自粛期間を挟み、そこからの景気回復、円安の進行、外国人旅行客の回復（インバウンド効果）も相まって、全体的な物価の上昇、特に生活必需品である食料、日用品など、関東地区よりも価格が高いのではないかと感じています。

また、私が最初の沖縄勤務を離れた直後にオープンしたイオンモール沖縄ライカムの誕生、セブンイレブンの沖縄進出、首里城焼失からの復元工事、以前にはなかったキャンプ・キングザー海側の臨港道路の開通、名護の市街地を迂回できる名護東道路の開通、更には、沖縄都市モノレール（ゆいレール）の延伸など、10年ひと昔前を実感しているところです。

ここ沖縄支部に隣接する「道の駅かでな」も道の駅に登録されて令和5年で20周年を迎えたとのこと、令和4年にはこれまでの建物に加えて別棟に展望所とテナントスペースが設けられ、より充実した施設にリニューアルし、嘉手納町の新たな観光スポットとなっているようです。

このように沖縄では、観光施設等のリニューアル、新設（DMMかりゆし水族館等）、新たな観光施設の計画（沖縄本島北部に令和7年夏オープン予定のテーマパークJUNGGLIA（ジャングリア））と、まだまだ進化していくようです。これまでに訪れたことがある方も、まだ訪れたことがない方も、是非、沖縄に足を運んでみてはいかがでしょうか。



「道の駅かでな」

人物紹介



Jeffery S. Short

U.S. Commander Marine Forces Japan
Marine Corps Installations Pacific
HOST NATION SUPPORT OFFICE
Host Nation Support Officer



ジェフリー S. ショート

在日米軍海兵隊司令部
日米支援管理事務所 所長

I am truly honored to represent Commander Marine Forces Japan as the primary representative to US Forces Japan (USFJ) Joint and Labor Subcommittees working toward improving the labor management and working conditions for USFJ host nation employees. I have worked as the Host Nation Support Officer (HNSO) for over five years and enjoy coming to work each day collaborating with US Army Japan, 5th Air Force, and Commander Naval Forces Japan Service Component Representatives as well as with my counterparts in the Ministry of Defense, Labor Management Office and the Regional Defense Bureaus and Offices. I believe that I have a unique perspective on the working conditions of our host nation employees because I worked outside of the military bases on the Okinawa economy as a civilian.

I arrived in Okinawa in August 1984, and except for two years working in Guam, I have lived in Okinawa ever since; 38 years. I have served in a variety of civilian positions across the Army, Navy, and Marine Corps, but I also enjoyed working in the Okinawan commercial sector. For over 13 years I managed restaurants, sold new and used cars, worked in hospitality, construction, demolition, landscaping, and entertainment. I started working for MCIPAC as Management Analyst in Organizational Development and Manpower Management in 2012, selected to serve as CMFJ HNSO for 3 years, and served in Guam for two years as the Director of Manpower and Personnel before returning to Okinawa to serve as HNSO a second time.

The working conditions of our host nation employees has been my number one priority, and I will continue to work with US Government and the Government of Japan to achieve their best work-life balance while still meeting the mission of US Forces Japan. Together we can accomplish great things and create positive changes for our work environments.

My life has involved moving from place to place, experiencing different cultures and nationalities. I was born in Germany, raised in an Army family, and have had 15 home addresses before my 18th birthday. I also lived in several places in Hawaii over 7 years, but never had a place to call home. When I arrived in Okinawa, I immediately fell in love with the people and the culture and decided to make Okinawa my home. My plans involve retiring in Japan with my Okinawan wife and two children.

私は在日米軍統合労務委員会と日米合同委員会分科会の在日米軍海兵隊主要代表者として、在日米軍の現地従業員の労務管理と、労働条件の改善に取り組んでいることを誠に光栄に思っています。私は5年以上にわたり日米支援管理事務所長として勤務しており、在日米陸軍、第5空軍、在日米海軍など、在日米軍の他の代表者、及び日本政府側の代表者である防衛省、LMO、地方防衛局・事務所の方々と協力しながら、毎日楽しく働いています。私は民間人として軍事基地の外でも沖縄の経済に携わっていたことがある為、現地従業員の労働条件について独自の視点を持っています。

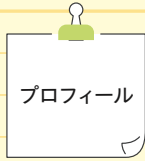
私は1984年8月に沖縄に来て以来、途中2年間のグアムでの勤務期間を除き、38年間ずっと沖縄に住んでいます。私は陸軍、海軍、海兵隊でさまざまな軍属の職に就きましたが、基地の外にある沖縄の民間企業でも楽しく働きました。13年以上にわたり、レストラン経営や、新車・中古車の販売をしたり、接客、建設、解体、造園、娯楽の分野で働いてきました。2012年に在日米軍海兵隊司令部で組織開発・人材管理の管理分析官として働き始め、その後在日米軍海兵隊司令部日米支援管理事務所長に選任され、3年間務めました。そしてグアムで2年間人材人事部長を務めた後、沖縄に戻り、2度目の日米支援管理事務所長を務めています。

在日米軍の現地従業員の労働環境は、私の最優先事項です。在日米軍の使命を果たしつつ、現地従業員の最良のワーク・ライフ・バランスを実現するために、米国政府および日本政府と引き続き協力していきます。私たちは共に素晴らしいことを成し遂げ、職場環境に前向きな変化をもたらすことができるのです。

私はこれまでの人生で、さまざまな場所を転々とし、異なる文化や国民性に触れました。私はドイツで生まれ、陸軍の家庭で育ち、18歳の誕生日までに15回も自宅の住所が変わりました。また、ハワイでは7年を超えていくつかの場所で暮らしましたが、故郷と呼べる場所はありませんでした。私は沖縄に来てすぐに、沖縄の人々や文化に惚れ込み、沖縄を自分の故郷にしようと決めたのです。沖縄出身の妻と2人の子供と一緒に日本で引退することを計画しています。

各地の職場から

今回は「広島県の呉第六突堤」で勤務し活躍されている方々を紹介します。



プロフィール
きったか じゅん
橋高 潤
職場名：在日米陸軍 呉消防隊
職 種：消防班長（陸上）
趣 味：魚釣り



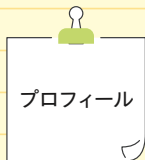
コメント

私は、呉にある消防隊本部で訓練班長として業務に携わっております。消防隊員への訓練を提供したり消防の各種資格の取得のためにクラスを開催する等、多岐にわたり業務を行っています。そのため自分自身の訓練を行い日々スキルの向上に努めております。また基地の中だけに留まらず相互援助協定により各市消防と連絡を取り合同訓練などを計画し、連携を深めています。

動でき、皆さんに安心していただけるような組織でありたいと思います。

常に消防技術はアップデートする必要があるため、継続的に訓練に参加し、技術を磨き知識を深めることが重要です。この仕事に、ここまででいいというゴールはありえないので、学んだことを各消防隊員へ提供し、全体のレベルアップにつなげていくことにやりがいを感じています。

このポジションに就いたとき最初は大丈夫だろうかと不安もありましたが、消防隊員の方の協力により業務をこなすことが出来ています。消防はチームで活動するので個人の能力が高いだけでは任務を達成することは難しくなると考えています。そのため、チーム全体の技術の向上を図るべく日々訓練に励んでいます。有事の際には安全に活



プロフィール
たにうち りょう
谷内 諒
職場名：在日米陸軍 基地管理本部 呉渉外室
職 種：社会関係（連絡）専門職
趣 味：妻とショッピング



コメント

私は2023年5月から現在の呉渉外室で勤務しております。私たちの部署は、地域社会との良好な関係を築くことが重要であるため、その関係構築と維持・発展に特に力を入れております。私たちの目標は、在日米陸軍と地域社会全体の共存共栄に寄与することです。そのために、常に新しい取り組みや改善策を模索し、実践しています。例えば、市や自衛隊の主催するイベントへの参加、定期的な児童養護施設や介護施設への訪問、地元警察とのスポーツ交流イベントの開催などを通じて、地域社会との結びつきを強化しています。今後も在日米陸軍と地域の懸け橋となれるよう、努力を続ける所存です。

じています。市や防衛局を通じて地域の方々の声に耳を傾けることで、相互理解が深まる瞬間が多々あります。このように、地域の課題を把握し、それに応じた適切な対応を心掛けるとともに、多岐にわたる業務を通じて、地域社会との信頼関係を築き上げることに誇りを持っています。

私がこの仕事を通じて多くのことを学べているのは、チームや先輩方のサポートがあっこそです。経験豊富な先輩方からの指導やアドバイスは非常に貴重であり、日々の業務において大きな助けとなっています。また、チーム一丸となって問題解決に取り組む姿勢も、私の成長に繋がっています。これからもチームと協力して任務の達成に邁進したいと思います。

渉外室の仕事は、時に難しい課題に直面することもあります。その一方で非常にやりがいを感じ

トピックス
1

移住フェアで募集周知活動（三沢支部）



8月3日（土）、東京交通会館にて「テーマから探す！移住フェア2024」が開催されました。エルモ三沢支部では、三沢市政策部政策調整課と共に当イベントに参加し、移住後の仕事の紹介として、在日米軍従業員についての周知活動を行いました。

この移住イベントは、20年間に渡り全国の自治体と連携して移住を支援する「認定NPO法人ふるさと回帰支援センター」が主催しており、今回も131の自治体・団体が出展し、565組810名（主催者発表）が来場する大盛況のイベントとなりました。イベント名にもあるように、参加者はテーマから興味のある移住先を探し、ブースを訪問できるようになっています。

三沢市は「日本のアメリカで働ける！」をテーマにブースを出展しました。テーマに惹かれて当ブースを訪問される方、三沢市近隣の市町村出身でUターンを検討中の方など20数組の方とお話することができました。

移住という人生の一大イベントを決めるには、お仕事は重要な要素となると思います。在日米軍従業員という選択肢があることを知っていただき、移住を前向きに検討いただけるよう、興味を持たれた方に対して、三沢市が実施する様々な移住施策や在日米軍従業員の待遇や仕事の内容などを説明しました。

エルモ三沢支部では、引き続き、三沢市をはじめとする近隣市町村と協力し、在日米軍従業員の安定した提供を図るべく、積極的な募集周知活動に努めてまいります。



トピックス
2

佐世保南高校主催県内企業説明会に 佐世保支部が参加（佐世保支部）



6月27日（木）、長崎県立佐世保南高等学校は、同校1年生を対象に「ふるさと長崎で働くことの魅力を伝える」事を目的として県内企業説明会を開催、佐世保支部のほか長崎県警察、十八親和銀行など8団体が参加し実施されました。

佐世保支部においては、佐世保基地における従業員の概要や職種、仕事内容について説明を行い、共に参加した米海軍佐世保基地OCHR海外プログラムセンター佐世保（民間人事局）の従業員2名からは、従業員となったきっかけや現在の仕事内容、仕事をする上での強みや魅力など、体験談を交えて講話を行いました。

参加した生徒からは、「基地内で多くの日本人が働いていること」、「多種多様な職種があること」、「英語を話せなくてもスキルがあれば働けること」を初めて知ったとの声があり、今後の進路について考えるきっかけとなったようでした。

当支部では、従業員について、より多くの方々に興味をもっていただけるよう、これからも様々な機会をとらえ、広報活動を行ってまいります。

エルモ職員採用案内

エルモ職員採用について

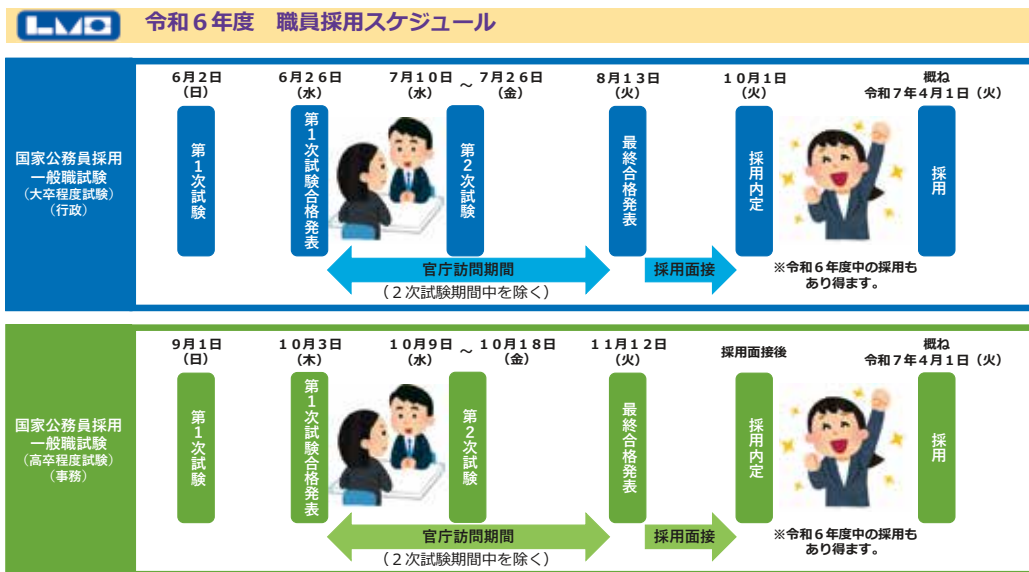
エルモでは、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験、高卒程度試験）の合格者から職員を採用しています。

令和6年度試験からの採用予定数は8名です。

■採用予定地区及び採用予定数 関東地区：大卒3名 高卒4名 沖縄地区：高卒1名



▲職員採用パンフレット



エルモの業務内容

●雇入れ等に関する業務

在日米軍からの労務要求書（求人）による在日米軍従業員の募集、人事措置の事務手続等を実施しています。人事措置とは、人事上の特定の措置（採用、昇格、退職等）のことで、在日米軍が人事措置要求書を作成し、エルモに送付します。

●給与の支給に関する業務

在日米軍従業員の給与及び旅費の支給に当たって、在日米軍から提出された就業記録の確認、計算及び支給に関する書類の作成を行っています。また、在日米軍従業員からの扶養手当、通勤手当、住居手当等の諸手当届出の受理・審査等、給与に関する様々な業務を行っています。

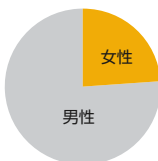
●福利厚生に関する業務

エルモは、在日米軍従業員に対する制服等の貸与、退職準備研修の実施や成人病予防健康診断の実施、各種相談の実施、業務災害を受けた者等に対する特別援護金の支給等を行っています。さらに福利厚生に関する業務として、社会保険に係る被保険者の資格取得・喪失の届出等の手続等を行っています。

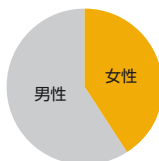


エルモは、職員に占める女性職員の割合が約40%を占めており、女性職員が活躍する職場です。

一般職国家公務員 女性24.0%



エルモ 女性41.1%



※1 国家公務員全体の割合は「令和4年度における一般職の国家公務員の任用状況調査（行政職（一）」参照
2 エルモの割合は、令和5年5月1日時点

業務説明、官庁訪問等について

■業務説明会、職場見学・座談会について

エルモの業務内容などを知っていただくために、業務説明会、職場見学・座談会を随時実施します。興味のある方は人事係までご連絡ください。

■国家公務員採用一般職試験（大卒程度）受験者向け

令和6年度試験からの採用は終了しました。令和7年度試験からの採用予定は、決まり次第、エルモHPでご案内します。

■国家公務員採用一般職試験（高卒程度）受験者向け

官庁訪問は10月3日（木）以降を予定しています。エルモで働きたい方は、ぜひ訪問をお待ちしています。詳細は採用HPをご確認ください。

採用担当：総務部総務課人事係 03-5422-1990（内線315又313）
（受付時間：9時30分～17時00分 ※土日祝日除く）
採用HP：https://www.lmo.go.jp/saiyou/saiyou.html





ティータイム

奥入瀬溪流の景色

三沢支部から南西の方向、十和田湖東岸方向へ車で1時間ほど走らせると、深い森林とともに奥入瀬溪流が見えてきます。国道や遊歩道が奥入瀬川に近いところをその流れに沿って整備されています。

奥入瀬溪流は、季節によりその貌（かお）を変え、我々を楽しませてくれます。

春は新緑の中、川には雪解け水が流れ、また地面には解け残りの雪が点在しています。

夏は新緑の緑、苔やシダの緑、木の香り、野鳥のさえずりが同時に楽しめる人気のシーズンです。

秋は肌寒さを感じながらもゆったりとした散策が楽しめ、10月以降は見事な紅葉を見ることが出来ます。



冬は積雪などでなかなか行きづらいこともあります。その凜とした空気、凍った滝、その真っ白な色と静寂さ…一年で一番美しい景色かもしれません。

溪流は14kmにわたります。車をゆっくりと走らせるもよし、途中の石ヶ戸の休憩所に車を止め、そこを拠点に遊歩道を散策するもよし、または自転車で疾走するのも気持ちが良いです。

川下から川上へ進んでいくと、やがて本流に激しい滝、銚子大滝が見えてきます。そのスケールから魚の遡上を阻むことから「魚止めの滝」とも呼ばれています。この滝を過ぎると終点はもうすぐです。溪流を抜けると、奥入瀬溪流へ水を送り出す十和田湖が眼前に広がります。

特に森林好き、川好き、滝好き、苔好き、湖好き、これらいずれかに当てはまる方は、是非、一度訪れることをお勧めします。



わが支部の顔

今回は神奈川県座間支部からです。



河原田 さん

所 属：給与厚生課課長代理（給与担当）

担当業務：給与計算、退職手当、旅費、諸手当等

本年4月から、定年延長に伴い座間支部で勤務することになりました。給与厚生課において、給与計算、退職手当、旅費、諸手当の審査等の業務を行っています。

定年延長後は職責も給与も大きく変化するため、野球に例えるなら監督からプレイヤーになる覚悟で、生活も給与に見合ったものにしようと考えていましたが、実際は・・・なかなか思い通りにはなりません。やはり準備は大切だと実感しました。

準備と言えば・・・エルモでは50歳以上の常用従業員の方を対象に退職準備研修を開催しています。内容は、60歳以降の雇用制度、退職手当制度や経済プランなどです。セカンドライフに不安を抱えている従業員の方には受講をお勧めします。準備は不安を解消してくれるかもしれません。ちなみに当支部主催の同研修は高評価（なんと満足度98.7%）でした。

そして雇用や経済プランに加え、セカンドライフを楽しむためには健康も重要です。（年齢を忘れていまだに）春夏秋はキャンプや登山・ハイキング、冬はスキーを楽しんでいます。これらも健康でなければできません（今夏は標高1,300mのキャンプ場をベースに2,400mの山行）。アクティブな趣味とは別に、毎日の通勤におけるプチ贅沢な楽しみも見つけ日々実行中です。健康を維持し60代を満喫したいと思います。



鳥 海 さん

所 属：管理課管理第二係

担当業務：人事措置、証明、休暇制度等

私は、平成30年4月に座間支部給与厚生課第1係で採用となり、6年間給与業務の経験を経て、本年4月から、管理課管理第2係において勤務しております。

現在、管理第2係では、人事措置、休暇の制度や応募等の業務を担当しており、新しい業務を覚えることは大変ですが、同じ部署の上司や先輩職員、軍の担当者の方々に助けられながら、日々少しずつ業務をこなせるようになりました。

ただいま、昨年度改正された定年延長があったことにより、延長された61歳の方々達の定年の処理、そして1度に5年間の契約に変わった高齢従業員の処理、大きい節目の第一歩の人事措置処理をさせていただき、新たな学びもありつつ良い刺激となっております。

また、休暇の制度については、イレギュラーな内容や制度改正についてよくお問い合わせがあるため、まずは根拠規則を理解し、正しくお答えできるように努めています。

また、休暇、応募など、ご不明な点について、丁寧でわかりやすい説明を心がけます。

まだまだ沢山学ぶことはありますが、これからも様々な経験を積んで、エルモや在日米軍従業員の皆さまに貢献できる職員を目指します。どうぞよろしくお願いいたします！

トピックス
3

米海軍横須賀基地お仕事相談会 ハローワークで月4回開催



横須賀支部では、昨年7月からハローワークにおけるお仕事相談会に参加しています。それまでは、在日米軍従業員の求人に関するご相談は、主に支部の窓口にて受け付けておりましたが、求職中の方との新たな接点を設けることにより応募の増加につなげるため参加することとしたものです。

当初は、ハローワーク横須賀（街ングジョブ）で月1回の参加でしたが、今年度に入り、同ハローワークでの参加回数を増やし、ハローワーク横浜南（みーつジョブ）での参加を新たに加え、現在では、両ハローワークで毎月各2回の相談会に参加しています。

相談会は、求人票からは分からない情報を得られる場として好評を博し、2時間という短い時間枠でも20名以上の方が訪れることもあり、可能な限り速やかで、相談される方のご関心や在日米軍従業員に関する知識に応じ丁寧で分かりやすい説明を心掛けております。

エルモのホームページやXのポストで開催日等をお知らせしておりますので、ご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、事前予約は必要ありませんので、お気軽にハローワークまでお立ち寄りください。

支部行事予定

10月・11月・12月分

支部	月	行事名	支部	月	行事名
三 沢	10月	年末調整受付(～11月) 退職準備研修 永年勤続者表彰式	京丹後	10月	年末調整受付(～11月) 成人病予防健康診断
	11月			11月	
	12月			12月	
横 田	10月	永年勤続者表彰式 成人病予防健康診断(～11月) 年末調整受付(～11月)	岩 国	10月	年末調整受付(～11月) 永年勤続者表彰式(呉地区)
	11月			11月	永年勤続者表彰式(岩国地区)
	12月			12月	成人病予防健康診断(婦人ガン) (岩国地区)
横須賀	10月	年末調整受付(～11月) 永年勤続者表彰式	佐世保	10月	成人病予防健康診断(～12月) 退職準備研修 年末調整受付(～11月) 永年勤続者表彰式
	11月	支部主催在日米軍従業員募集説明会(23日)		11月	
	12月			12月	
座 間	10月	年末調整受付(～11月) 永年勤続者表彰式(座間地区・富士地区)	沖 縄	10月	年末調整受付(～11月) 永年勤続者表彰式 制服等更新分給貸与 定期健康診断及び前期特殊健康診断(～10月) 成人病予防健康診断(婦人ガン)(～11月)
	11月			11月	
	12月			12月	

INFORMATION



令和7年度 成人病予防健康診断を受診してみませんか？



エルモでは、定期健康診断とは別に、年齢に応じた検査を追加できる「成人病予防健康診断」を行っています。

対象は、常用従業員（試用期間従業員含む）及び高齢従業員の方で、12月に配布される給与明細とともに受診申込書をお送りします。

検査を希望される方は、申込書に必要事項を記入して、提出期限までにエルモ支部厚生担当係へお申し込みください。

お申し込み後、注意事項などをお伝えします。

対象年齢 検査項目	～34歳	35歳	36歳～39歳	40歳～
胃 検 査				○
心 電 図 検 査	○	定期検診で実施	○	定期検診で実施
肝 機 能 検 査	○	定期検診で実施	○	定期検診で実施
大腸ガン検査				○
肺 ガ ン 検 査				○



婦人ガン検診が受けられます！



35歳以上の女性は、指定する医療機関において婦人ガン検診（乳ガン検査、子宮ガン検査）も受診することができます。

「乳ガン」は、女性がかかるガンの中では最も多く、特に40歳代後半から60歳代後半の罹患率が高い傾向にあり、日本全国で1年間に約98,000人が乳ガンと診断されております。

「子宮（頸）ガン」は、20歳後半から増加して40歳代でピークを迎え、日本全国で1年間に約11,000人が子宮（頸）ガンと診断されています。

早期発見、早期治療に繋がりますので、ぜひこの機会に受診してみたいかがでしょうか。



退職準備研修 はセカンドライフ プランを考える絶好の機会です!



エルモでは、50歳以上の常用従業員を対象に、退職後の生活に必要な知識が習得できるよう、セカンドライフプランセミナー（退職準備研修）を開催しています。

対象者には、12月に配布される給与明細とともに、令和7年度に開催するセミナーの申込書をお送りします。

参加を希望される方は、申込書に必要事項を記入して、提出期限までにエルモ支部厚生担当係へお申し込みください。

- 参加は無料です
(会場までの交通費は自己負担)。
- セミナーは1日
(休憩含め7時間程度) で実施します。
- 当日が勤務日の方は、管理休暇が付与されます。
- 50歳から参加できます。

注意

セミナーは例年6月から10月までに開催していますが、エルモ支部により開催時期は異なります。

申込書は12月に対象者の方へ配布いたします

アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口について

エルモでは、アスベスト(石綿)に係る在日米軍従業員の皆様の健康相談窓口を開設しております。アスベスト(石綿)に係る健康相談を希望される方は、最寄りの窓口にて御相談ください。

- 対象者 在日米軍従業員及び在日米軍基地に勤務され退職された方など
- 相談内容
 - 御自身の健康不良や健康不安に関すること
 - 労災補償制度や健康管理手帳制度に関すること
 - 相談機関の紹介に関すること

アスベストに係る米軍の窓口についても、エルモホームページでご確認いただけます。



アスベスト(石綿)に係る健康相談窓口

担当部署	住所	電話番号
労務部厚生課	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル12階	03-5422-1990
三沢支部給与厚生課	〒033-0012 青森県三沢市平畑1-1-25	0176-53-4165
横田支部給与厚生課	〒196-0005 東京都昭島市代官山2-4-4 昭島昭和第2ビル4階	042-542-7883
横須賀支部給与厚生課	〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通1-6 村瀬ビル4階	046-828-6946
座間支部給与厚生課	〒252-0011 神奈川県座間市相武台1-46-1	046-251-0702
京丹後支部	〒629-2503 京都府京丹後市大宮町字周枳1975 MICビル1階	0772-68-0920
岩国支部給与厚生課	〒740-0027 山口県岩国市中津町2-15-35	0827-21-1271
呉分室	〒737-0051 広島県呉市中央1-6-9 センタービル呉駅前4階	0823-32-7087
佐世保支部給与厚生課	〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町3-1	0956-23-7191
沖縄支部厚生課	〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良1058-1	098-921-5534

INFORMATION

募集案内 在日米軍従業員を募集しています！

エルモホームページでは、在日米軍従業員の求人情報を掲載しております。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。最寄りの支部にお問い合わせください。

※本州・九州の基地においては、求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますので御利用ください。

在日米軍従業員募集ポスター



在日米軍従業員募集パンフレット



インターネットによる応募を受け付けております。

ホームページ(PC及びスマートフォン)アドレス

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

求人情報



求人情報提供メールサービス



X (旧Twitter) アカウント名 【在日米軍従業員求人情報 (エルモ)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信いたします。ぜひ、フォローをお願いします。

X (旧Twitter)



求人情報



求人情報提供メールサービス



編集発行

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】
総務部総務課

東京都港区虎ノ門四丁目3番20号 神谷町MTビル
Tel : 03-5422-1990 ホームページアドレス <https://www.lmo.go.jp>

エルモ公式 X (旧Twitter)



エルモHP

